

～ ヨーロッパ最新情報 2021年11月～

リバティヒルバケーションより、気になる、秋が深まるヨーロッパの最新情報をお届けします。

日本では、人口の70%以上が2回目のワクチン接種を完了し、感染者数の増減も落ち着いてきており、水際対策の緩和も期待されてきています。

ヨーロッパ各地では、コロナ禍で中止されてきたクリスマスマーケットや各種の大型イベントなども、順次、再開されてきています。

パンデミック前の賑わいを取り戻しつつある、ヨーロッパの街並みの現状の写真とともにご紹介させていただきます。

是非、ご参考になさってみてください。



観光客でにぎわうサグラダファミリア前



ベルゲンの魚市場にて



ブリュッセルのグランプラス広場



人通りもテラス席も賑わうグラシア通り



プラハ中心部 ハヴェルスカ市場



オスロ空港、入国時のコロナ検査過程
(一般立ち入り禁止)



くさり橋工事中、夜間のライトアップも
中止されています



ブリュッセル ギャラリー・サンチュベール



ケルトナー通りではイルミネーションの
準備が始まっています



ロンドン

夕暮れ時も人通りの多いピカデリーサーカス



マドリッド

バル内カウンター前も利用可能になりました



イタリア

ペルージャ、チョコレートショップの路面店



チェコ

黄葉色づくブジェヴノフ修道院



スイス

スイストラベルマート2021の様子



イタリア

Euro Chocolate 2021が開催されました

AUSTRIA (オーストリア)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

今年のクリスマス市の開催が正式に発表され、各地でイルミネーションの設置やクリスマス市の準備が始まっています。11月1日より、職場でも3Gルール（抗原検査・PCR陰性証明・2回ワクチン接種証明・治癒証明）が適用されます。コロナワクチンの迅速な普及の為に、集中治療室のベッド使用400台以上になった場合（第3段階）は非接種者への外出制限を課す可能性が示唆されています。（現在は第1段階のルールが適応されています）

日本からの入国情報	[10月26日時点] 9月15日より、ワクチン接種済証明書、完治証明書がある人は隔離不要、陰性証明提出不要、事前登録も不要。どちらもない場合は事前登録の上、陰性証明提出、自主隔離要。自主隔離5日目以降に再度検査を行い、陰性と認められた場合自主隔離が早期終了が可能。
国内の感染状況 ワクチンの接種状況	2021年10月28日時点のワクチン接種状況(全人口比) 1回以上接種：66.1% 必要回数接種：63.0% 総感染者数：2021年10月29日時点 810,157人 一週間の感染者数：2021年10月11日～10月17日 14,200人 2021年10月18日～10月24日 21,623人
DCC (Digital Covid Certificate) 運用状況	[10月26日時点] Grüner Pass(Green Pass)というアプリに接種証明、陰性証明等の情報（SMSやEメール等で届くQRコード）を読み込ませます。アプリがなくても、接種証明書等を飲食店等でそのまま提示しても問題ありません。
マスク着用義務	[10月26日時点] 公共交通機関（駅や待合所含む）やタクシー、ゴンドラ等内ではFFP2マスクの着用義務。ワクチン未接種者はその他の商店、コンサート会場でもFFP2マスクの着用が義務付けられる。10月1日よりウィーン市のみ、商店・サービス業の屋内店舗、文化施設では全ての入場者に対してFFP2マスクの着用を義務付ける。
レストラン	[10月26日時点] 飲食店（屋外も含め）の利用の際は、ワクチン接種済証明書、完治証明書、中和抗体証明書のいずれかの提示が必要。利用した旨の登録も必要です。社会的距離も撤廃されたため、人員制限や営業時間制限もなくなり通常営業となっています。（ウィーン市のみ、抗原検査不可、PCR陰性証明のみとなっています）
ショップ	[10月26日時点] 通常営業中。

BELGIUM (ベルギー)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

ワクチン接種率が70%以上となりました。新規感染者数に大きな減少はなく横ばいとなっていますが、重症者数や死亡者数は明らかに減っており、この推移は政府の予測の範囲内とのことです。いわゆるコロナパス=Covid Safe Ticket(ワクチン接種証明書、Covid-19の陰性証明書48時間以内、Covid-19からの回復証明書6カ月以内)の利用が進み、町の様子や人々の生活はコロナ禍以前に戻っているように見えます。

日本からの入国情報	[10月25日時点] EUの安全国リストから日本が削除されたことにより、ワクチン接種証明を所持していない場合は、日本からベルギーへの必要不可欠ではない渡航は原則禁止となり、渡航する場合には特定の措置が適用されています。ワクチン接種証明を所持しない場合はPCR陰性証明要、入国後の10日間の隔離義務があり、7日目に受検する2回目の検査が陰性であった場合には、検疫隔離期間を短縮できます。到着前48時間以内に公衆衛生渡航者追跡フォーム(英語版・フランス語版)へ登録は継続です。
国内の感染状況 ワクチンの接種状況	2021年10月28日時点のワクチン接種状況(全人口比) 1回以上接種：75.3% 必要回数接種：74.0% 総感染者数：2021年10月29日時点 1,351,913人 一週間の感染者数：2021年10月11日～10月17日 22,122人 2021年10月18日～10月24日 38,908人
DCC (Digital Covid Certificate) 運用状況	[10月25日時点] EU内在住者向けEU DCCは、世界でも利用可能な国の数は増えています。ベルギーではCovidSafeBEというアプリを利用。ベルギーのIDカード(eID)の番号を入力する事により、ワクチン接種の履歴が自動で読み込まれ、QRコードが表示されるので、レストラン等で提示を求められるたらQRコードを提示します。
マスク着用義務	[10月25日時点] 12歳以上に対し、公共交通機関、商店、映画館、劇場、コンサート会場、礼拝所、美術館、図書館、市場、蚤の市、遊園地、公共の建物内、ケータリング施設、商店街、および他人と1.5mの距離が確保できない場合はマスクの着用が義務付けられています。地方自治体ごとにさらに厳しいルールを導入していることもあります。
レストラン	[10月25日時点] 16歳以上の人の店内飲食にはCovid Safe Ticketの提示が必要。テラス席での飲食では不要。開店・閉店時間、着席数、着席している人々の間の距離、テラス、音響レベル及びバー・サービスに関する制限がなくなり、座席のみの提供義務も撤廃されています。
ショップ	[10月25日時点] すべての店舗は、通常の営業時間通りに営業可能となっています。

CZECH (チェコ)

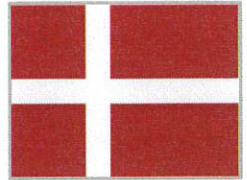


ヨーロッパから現地の声をお届けします！

プラハの街中では近隣諸国からの観光客や地元の人が多く見受けられ、パンデミック前の人出に戻りつつあります。プラハ城などの人気観光スポットでは団体観光客用大型バスが多く停車しています。一方で8月終わりから続く感染拡大はまだ続いており、10月25日からと11月1日からマスク着用の義務の厳格化や入店規制などが再導入されています。また国内ではワクチン接種を完了している人口が10月25日時点で57%だったものの、感染拡大傾向の影響から今までワクチン接種を控えていた人たちの間で徐々にワクチン接種が進んでいます。また医療従事者や高齢者などから徐々にワクチンのブースターショット接種（3回目）も始まっています。

日本からの入国情報	[10月25日時点] EUの安全国リストから日本が削除されたことにより、9月20日以降、日本は「低感染危険国（緑）」から「最感染危険国（濃い赤）」に変更され、日本からの入国は原則禁止となりました。ただしワクチン接種証明、コロナ回復証明提出者はPCR陰性証明、自主隔離が不要（電子版入国フォームの提出は必要）。 ※現時点で、日本の地方自治体が発行する接種証明書は認められていません。
国内の感染状況 ワクチンの接種状況	2021年10月28日時点のワクチン接種状況 (全人口比) 1回以上接種：58.2% 必要回数接種：56.9% 総感染者数 ： 2021年10月29日時点 1,752,086人 一週間の感染者数 ： 2021年10月11日～10月17日 9,161人 2021年10月18日～10月24日 20,576人
DCC (Digital Covid Certificate) 運用状況	[10月25日時点] ワクチン接種が終了した時点でワクチン接種証明書がemailにて送付され、TečkaというAPPに各自で証明書を登録できます。コンサートや会場劇場、映画館等への入場時やレストランで保健局のスタッフのコントロールの際、飛行機への搭乗の際など、ワクチン接種証明及び陰性証明に使用されています。
マスク着用義務	[10月25日時点] 10月25日から屋内でFFP2 / KN95等のレスピレーター着用義務が再び強化され、全ての屋内でレスピレーターの着用が再び義務化されました。（これまでは公共交通機関等を除きサージカルマスクでも可でした。16歳未満は引き続きサージカルマスクでも可）。
レストラン	[10月25日時点] 営業時間の制限なし。屋内外関係なく食事中以外はレスピレーター着用。各テーブルには最大6名まで（家族の場合は除く）。11月1日より飲食店に対し客のワクチン接種や陰性等を確認することが義務づけられます。
ショップ	[10月25日時点] 衛生上のルールを守って営業する限り、全カテゴリーの店舗で営業再開。客1人当たり10m ² が確保されること、および客と他の客との間隔を最低2m確保できること、客はレスピレーター着用。

DENMARK (デンマーク)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

デンマーク政府はパンデミックは社会的に重要な病気ではなくなるとして、9月10日からコロナ規制を全面解除しました。今までデンマーク国内ではレストラン・美術館などの入場に必要だったコロナパスポートの提示もなくなり、コロナ以前の日常生活が戻っています。

日本からの入国情報	[10月25日時点] (日本を含む) 全世界において、承認に値する入国目的の要件及び入国前の検査義務が撤廃、観光目的での入国が可能となりました。ワクチン未接種者がデンマークに入国する場合、承認に値する目的や入国前検査は不要になりますが、入国後24時間以内の検査や隔離は求められます。ワクチン接種証明書をお持ちの場合、検査や隔離などの入国制限は課せられません。
国内の感染状況 ワクチンの接種状況	2021年10月28日時点のワクチン接種状況 (全人口比) 1回以上接種：76.8% 必要回数接種：75.6% 総感染者数 ：2021年10月29日時点 382,796人 一週間の感染者数 ：2021年10月11日～10月17日 4,794人 2021年10月18日～10月24日 7,005人
DCC (Digital Covid Certificate) 運用状況	[10月25日時点] 5月からコロナパスポートの運用を開始していましたが、9月10日のコロナ規制全面解除に従い、国内でのコロナパスポート提示は必要なくなりました。
マスク着用義務	[10月25日時点] 9月10日からコロナの規制が解除されていますが、空港内は引き続きマスク着用義務。
レストラン	[10月25日時点] 9月10日より規制全面解除。
ショップ	[10月25日時点] 9月10日より規制全面解除。

FINLAND (フィンランド)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

フィンランド政府はワクチン接種完了者が人口の80%を超えるのを目安に規制解除を検討、10月からは集会制限やリモートワーク推奨なども緩和されました。ただ、ヘルシンキ周辺など一部の地域では感染者数が増加しており、レストラン営業時間などの規制は継続されています。

日本からの入国情報	[10月25日時点] 8月9日から日本からフィンランドへの入国規制が変更になりました。ワクチン2回接種後14日経過した証明がある場合全ての国から入国できるようになる一方、日本居住者のワクチン接種未完了者は滞在許可や不可避な渡航理由がない限り入国できなくなりました。また、日本のワクチン接種証明書がフィンランド入国書類として認められるようになりました。
国内の感染状況 ワクチンの接種状況	2021年10月28日時点のワクチン接種状況 (全人口比) 1回以上接種：76.4% 必要回数接種：69.6% 総感染者数 ： 2021年10月29日時点 157,531人 一週間の感染者数 ： 2021年10月11日～10月17日 3,793人 2021年10月18日～10月24日 3,591人
DCC (Digital Covid Certificate) 運用状況	[10月25日時点] ワクチン接種から約5日以降にオンラインにて「EU COVID-19 certificate」取得可能。現状国内での使用機会はなく、出入国時に使用のみ。
マスク着用義務	[10月25日時点] 12歳以上の全市民は公共の場におけるマスクの着用が推奨されていますが義務ではありません。ただし、感染率の高い地域（ヘルシンキ周辺ウーシマー郡等）では、公共交通機関利用時に常時。学校・教育機関を含む全ての公共の場やイベントで常時マスク着用が勧告されています。
レストラン	[10月25日時点] 営業再開していますが地域によって営業時間やアルコール提供時間などは異なります。ヘルシンキではレストランは総座席数75%上限とし営業は午前1時まで（アルコールは24時以降の提供禁止）です。アルコールを主に提供している施設（バー）は総座席数50%上限、営業は午前1時まで（アルコールは24時以降の提供禁止）です。
ショップ	[10月25日時点] スーパー、モールやその他のお店は通常通り営業しています

FRANCE (フランス)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

パリはALL SAINT'S DAYの2週間のバカンスに入りました。フランス国内からの家族連れの観光客に加え、国外からの観光客も増え、コロナ前のような人通りや賑わいとなっています。エッフェル塔は平日でもなかなか予約が取れません。セーヌ川クルーズも週末のランチクルーズには10隻ほどの船が立て続けに航行しているのを見かけます。公共交通機関も混雑してきました。朝晩の通勤時間帯には100パーセントを超える乗車率となることもあります。マスク着用率は残念ながら徐々に下がってきています。10月上旬に行われた『モンマルトルのブドウ収穫祭』では、ワインの試飲の販売側、客側どちらも、屋外という理由からなのか マスク着用をしている人はほぼ皆無でした。

日本からの入国情報	[10月28日時点] 日本は最も規制の少ない「緑」に区分され、渡航にあたって特別な理由は必要なし。ワクチン接種済みの者は搭乗前検査不要、ワクチン未接種の者は陰性証明が必要。仏に到着後の自主隔離は必要ありません（ワクチンの接種の有無にかかわらず）。フランス入国時に提出する誓約書は必要。フランス入国の際、日本のワクチン接種証明書が認められますが、フランス国内で使用される衛生パスとしては使用不可
国内の感染状況 ワクチンの接種状況	2021年10月28日時点のワクチン接種状況(全人口比) 1回以上接種：75.9% 必要回数接種：68.1% 総感染者数：2021年10月28日時点 6,923,896人 一週間の感染者数：2021年10月11日～10月17日 30,714人 2021年10月18日～10月24日 33,745人
DCC (Digital Covid Certificate) 運用状況	[10月28日以降] 衛生パス導入。衛生パスとは、ワクチン接種証明もしくはコロナ陰性証明のこと。12歳以上が対象。カフェ、レストラン、ショッピングセンター、病院、長距離交通機関（飛行機・電車・バス）、50人以上の文化・娯楽施設（美術館・遊園地・映画館・コンサートなど）
マスク着用義務	[10月28日時点] 11歳以上には公共交通機関、レストラン・文化施設・店舗・行政施設等の閉鎖された公共空間、屋外で人が集まる場所(セレモニーや野外イベント、マルシェなど)においてマスク着用が義務付けられています。屋外では基本的にマスクの着用は義務ではなくなりましたが、感染者が増加している一部の地域では義務となっています。
レストラン	[10月28日時点] 全てのカフェ・レストラン・バーにて、衛生パスの提示が屋内・屋外席共に求められます。
ショップ	[10月28日時点] 50人以上が集まる商店については、衛生パスの提示が求められますが、スーパーやショッピングセンターでは感染者が減少している地域に限って、衛生パスの提示は不要となりました

GERMANY (ドイツ)



ヨーロッパから現地の声をお届けします！

ドイツでは屋外のマスク着用が義務ではなくなっており、パンデミック前の行動様式に戻そうとしている印象です。国内の様子は州により若干の差はありますが、CovPass（コロナパス）を利用し、飲食店や商店などは活気を取り戻しています。新規感染者は再び増加傾向にあり、直近1週間で確認された人口10万人当たりの新規感染者数は5月以降初めて100人に達しました。秋から冬にかけてさらに加速すると警告されています。

<p>日本からの入国情報</p>	<p>[10月25日時点] 9月24日より日本からの入国制限は解除され、入国後の隔離義務はありません。日本からの渡航者（特に観光目的の短期渡航者）は引き続き入国が制限されますが、ワクチンの接種証明書を有している方は観光や商用等の短期滞在目的であってもドイツに入国することが可能です。ワクチン接種証明の所持者は陰性証明書の提示も不要です。日本で発行されたワクチン接種証明はドイツにおいても有効です。</p>
<p>国内の感染状況 ワクチンの接種状況</p>	<p>2021年10月28日時点のワクチン接種状況(全人口比) 1回以上接種：69.3% 必要回数接種：66.5% 総感染者数：2021年10月29日時点 4,559,120人 一週間の感染者数：2021年10月11日～10月17日 63,516人 2021年10月18日～10月24日 92,368人</p>
<p>DCC (Digital Covid Certificate) 運用状況</p>	<p>[10月25日時点] ワクチン接種証明書“CovPass”が運用中。ワクチン接種時にワクチン手帳が交付され、接種完了から14日間以上経過していればワクチン手帳の提示で陰性証明書が免除となります。これに加え、デジタル接種証明の運用が段階的に始まりました。QRコードをアプリに読み込ませることでデジタル接種証明を取得することができます。</p>
<p>マスク着用義務</p>	<p>[10月25日時点] 公共交通機関や小売店では医療マスク（OPマスク、KN95マスクまたはFFP2マスク）の着用義務が継続されています。他人との接触が密となる場合や長時間に及ぶ場合、及び特に閉鎖された空間においても医療マスクの着用が推奨されています。マスク着用義務違反に対しては、最低50ユーロの反則金が課されます。</p>
<p>レストラン</p>	<p>[10月25日時点] 「3Gルール」。過去7日間の人口10万人当たりの新規感染者数が35を超える市郡では、店内飲食は人数制限及び陰性証明の提示（3Gルール）を条件に可能。35を下回る市郡では、各連邦州はこの3Gルールを撤廃または部分的に廃止することができます。※3Gルール：ワクチン接種者、感染からの快復者、コロナ検査実施者</p>
<p>ショップ</p>	<p>[10月25日時点] レストランと同様に「3Gルール」が導入されています</p>